



2020年10月14日 (水)

第60期 (2021年3月期) 第2四半期決算説明会

(2020年4月1日~2020年9月30日)

代表取締役社長	最高経営責任者 (CEO)	保木 潤一
執行役員	管理本部長	川久保 秀樹

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

第60期（2021年3月期）第2四半期損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期2Q実績		21.3 60期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,380		17,734		△645	96.5%
営業利益	2,596	14.1%	2,671	15.1%	74	102.9%
経常利益	2,724	14.8%	2,806	15.8%	81	103.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,265	17.8%	2,776	15.7%	△489	85.0%
E P S	108.14円		91.84円			

HOGY

4

■ 減収減益

売上高 : 新型コロナによる手術件数への影響は改善傾向にあるが、KIT製品を中心に影響を受ける
 : 感染防止関連製品（ガウン・プリコーションセット）の特需が発生
 : 第2四半期では増収（コロナ影響減少、感染防止関連製品の特需）

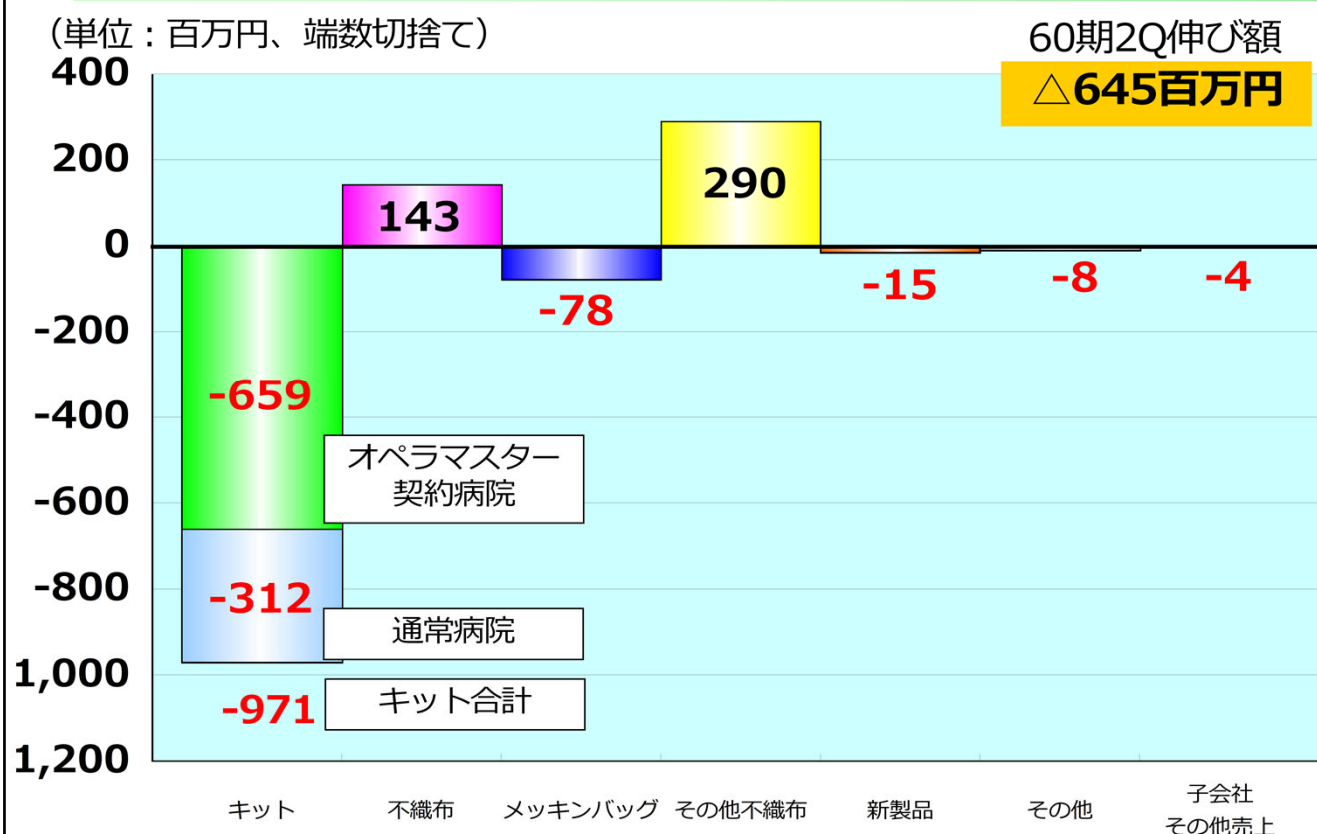
原価率 : 58.5%(前年比-0.3pt)
 償却費の減少
 製造量減少による生産性への影響

販売管理費 : 新型コロナによる営業活動量の減少により旅費交通費や見本費の減少

特別利益 : 保有していた有価証券の売却益 1,028百万円

* 前年1,942百万円

第60期（2021年3月期）第2四半期 主な製品の売上高伸び額

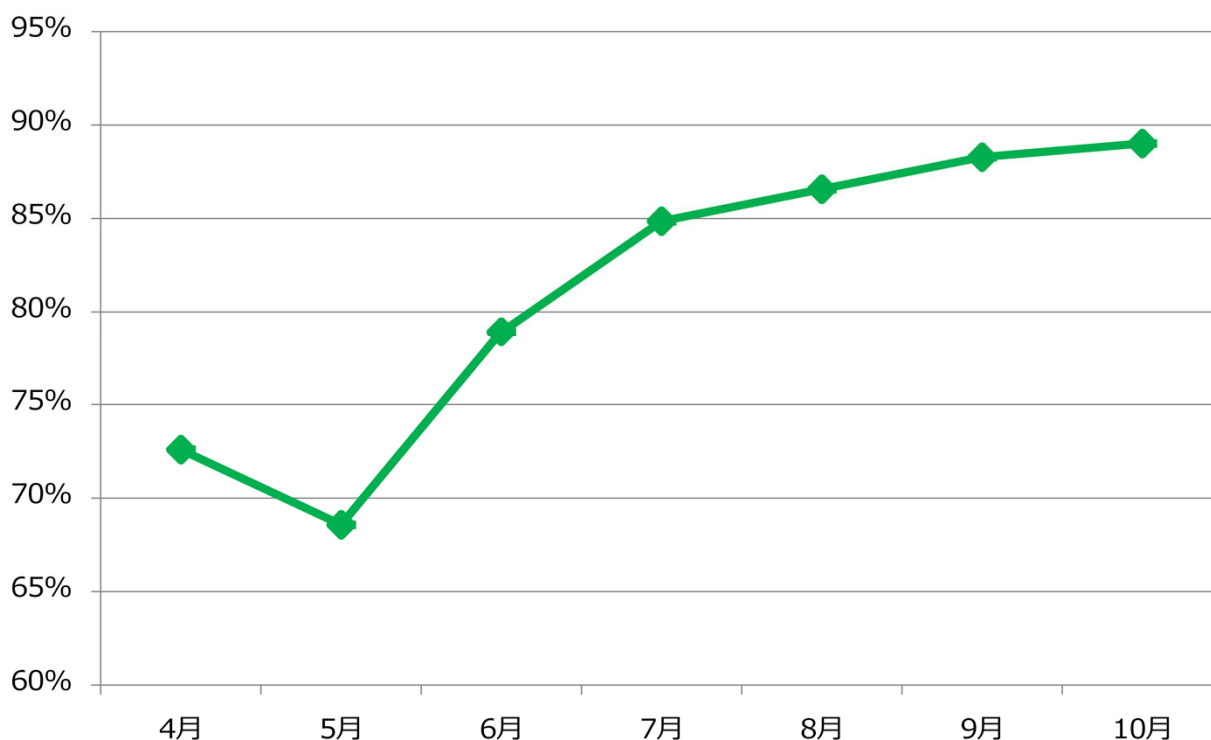


HOGY

5

- ・新型コロナにより手術件数が減少(延期)し、KIT製品を中心に減収
- ・プレミアムキット・ブリスターキットは5.3%の増収
- ・其他不織布（マスク）と不織布（ガウン、プリコーションセット）は特需が発生
- ・医療機関で起きた医療材料不足への対応
- ・営業活動については医療機関の意向を確認し、制限付き活動を継続
- ・オペラマスター 新規契約2施設、解約5施設

2000病院でのコロナによる手術への影響（営業員報告）



HOGY

6

- ・ 弊社営業員調べによる約2000病院でのコロナによる手術件数への影響を調査
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向にある

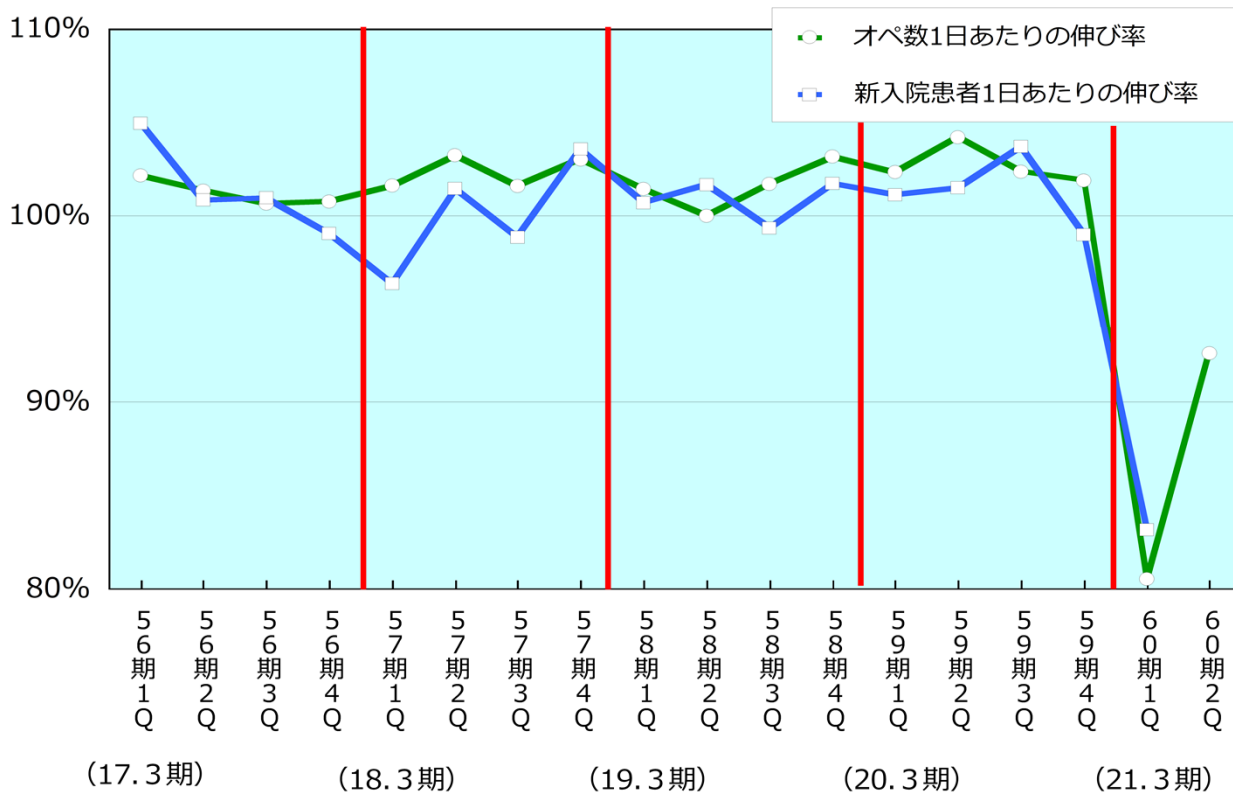
第2四半期累計 製品別 新型コロナ影響額



	特需 影響額	減少 影響額
KIT		△1,250百万円
不織布	460百万円	△310百万円
メッキンバッグ		△80百万円
その他不織布	340百万円	
合計	800百万円	△1,640百万円

総計: △840百万円

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



HOGY

・オペラマスター契約病院では7%程度の影響が残っている

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,310		△922	97.5%
営業利益	5,307	14.3%	5,490	15.1%	182	103.4%
経常利益	5,791	15.6%	5,930	16.3%	138	102.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	14.9%	4,980	13.7%	△549	90.1%
E P S	183.07円		164.70円			

HOGY

10

■コロナの影響について

- ✓ コロナの影響による手術件数への影響は1Q：18%減、2Q：10%減、下期9%減を予測

■売上高

- ✓ 手術件数に起因する製品は販売額を減少させ、マスクやプリコーションは特需の影響により増加を見込む
- ✓ 「業務効率」と「医療安全」に貢献できるプレミアムキットの提案強化

■原価

- ✓ 製造量減少による操業時間の減少
- ✓ 償却費の減少

■販売管理費

- ✓ 営業活動減少による、旅費交通費・見本費等の減少

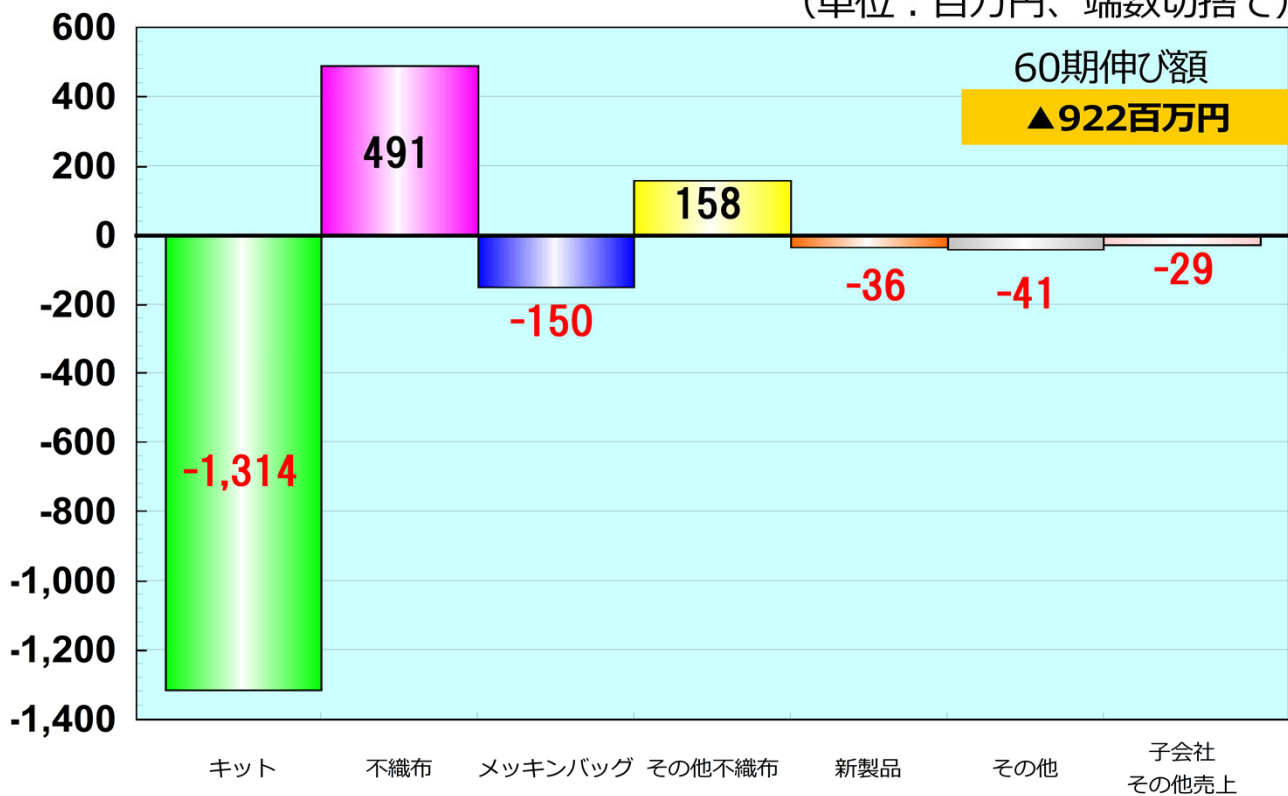
■特別利益

- ✓ 株式売却益を計上

第60期（2021年3月期）主な製品の売上高増減額



（単位：百万円、端数切捨て）



HOGY

11

■キット製品はコロナによる影響で▲1,960百万円の影響を受ける

■プレミアムキットで646百万円増収を見込む

■不織布製品では感染防止関連製品の特需を見込む
（ガウン・プリコーションセット）（440百万円）



（プリコーションセット内容）

- ・サージカルガウン、フェイスシールド、N95マスク、グローブ、シューズカバー、キャップ

通期 製品別 新型コロナ影響額



	特需 影響額	減少 影響額
KIT		△1,960百万円
不織布	900百万円	△600百万円
メッキンバッグ		△150百万円
その他不織布	220百万円	
合計	1,120百万円	△2,710百万円

総計: △1,590百万円

通期 製品別 主な増減の内訳



(単位：百万円)

製品	要因	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
KIT	新規	124	154	195	172	645
	コロナ	-820	-430	-400	-310	-1,960
不織布	コロナ (ガウン+プリコー ション)	120	340	220	220	900
	海外	23	101	85	101	310
	その他	-204	-218	-155	-130	-707
メッキン バッグ	コロナ	-40	-40	-40	-30	-150
その他不 織布	コロナ	160	180	80	-200	220
上記要因以外		-24	-72	-69	-15	-180
合計		-661	15	-84	-192	-922

■ 市場環境

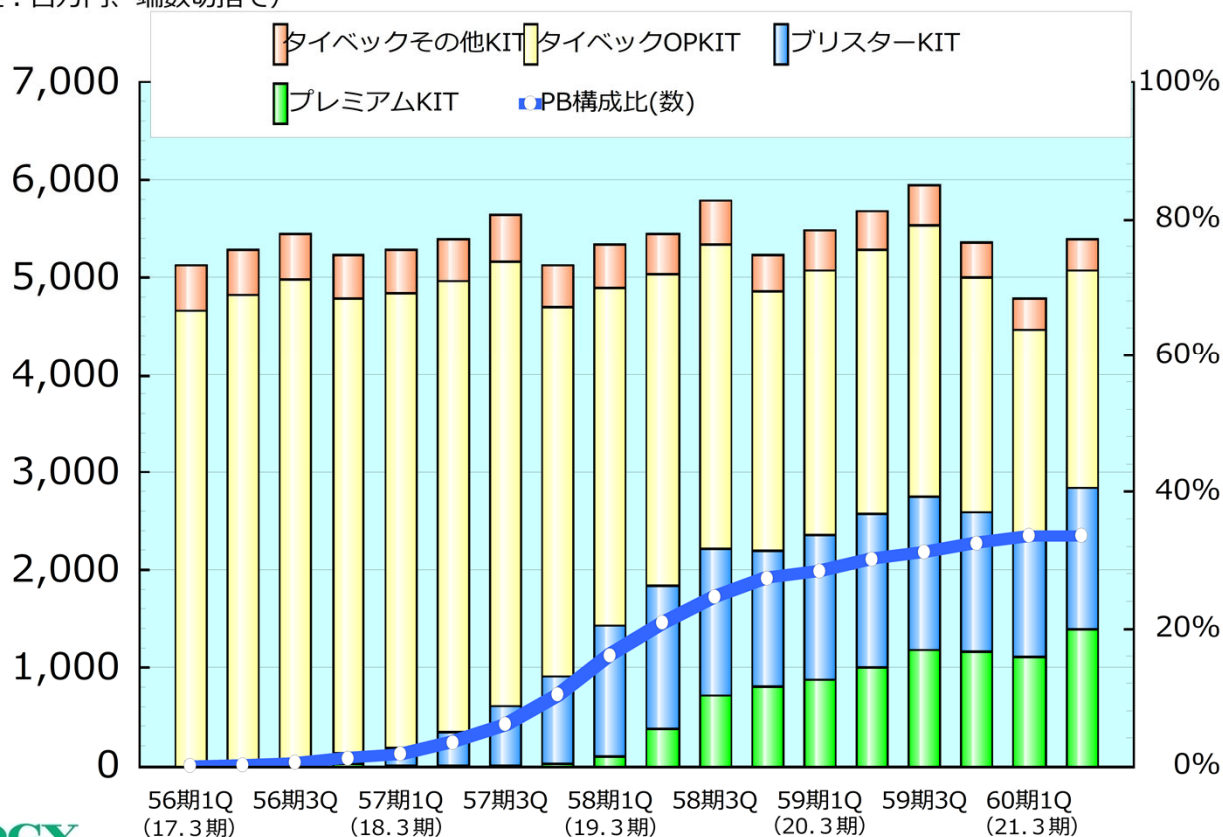
- ・ 次年度以降に手術件数増加を検討する医療機関が増加の可能性
 - ✓ 後回しにした手術の取込が必要（患者の顕在化も起こる）
 - ✓ 手術減少による経営の悪化
- ・ コロナにより従来必要としていなかった業務が増加し、益々医師看護師への負担が増加
- ・ 医療機関での機能分化が加速する可能性

■ 医療機関での人員不足が加速する可能性があり、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化

実績の詳細

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数切捨て)

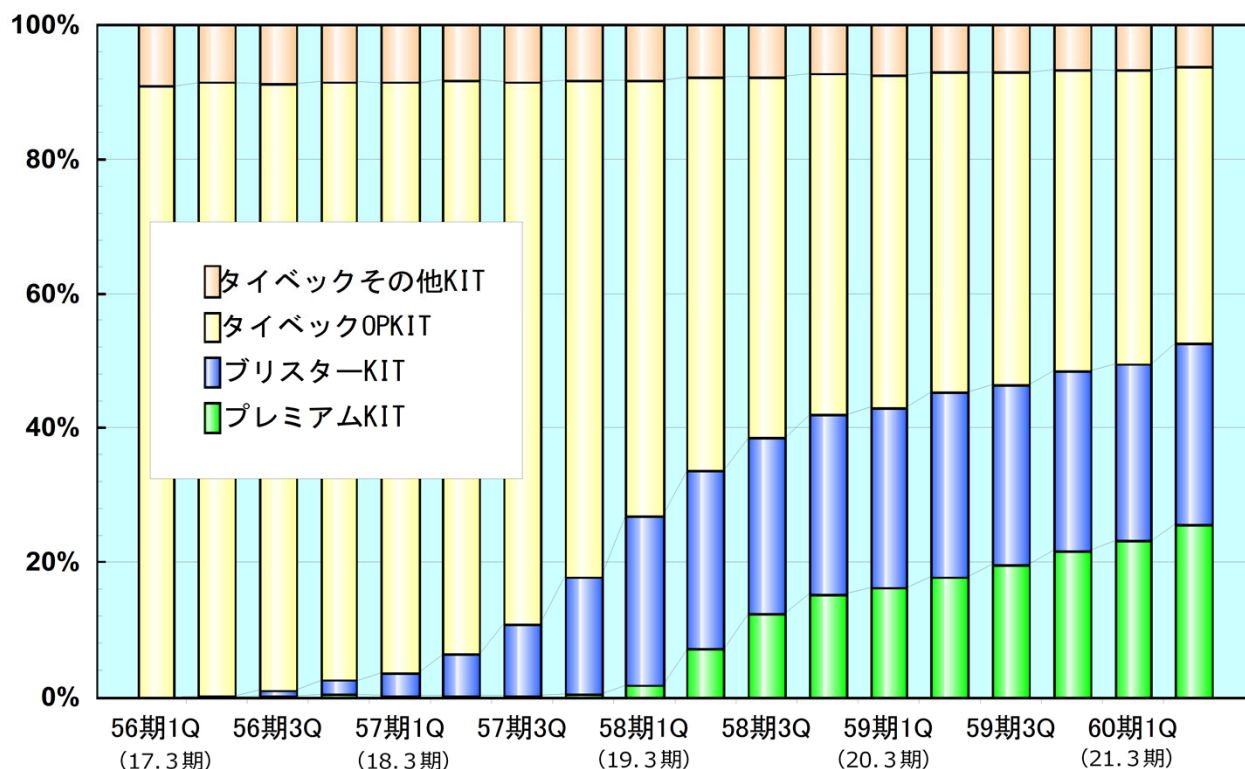


HOGY

16

- ・ 新型コロナの影響でタイバックキットを中心に販売量が減少
- ・ 緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向
- ・ 60期第2四半期 前年比
 - ✓ プレミアム、プリスター：+264百万円、110.2%
 - ✓ タイバックキット：△541百万円、82.6%

キット製品 販売構成比 推移



HOGY

・新型コロナの影響によりタイベックキットが減少したことにより、プレミアムキットの構成比が上昇

オペラマスター契約病院の手術数推移

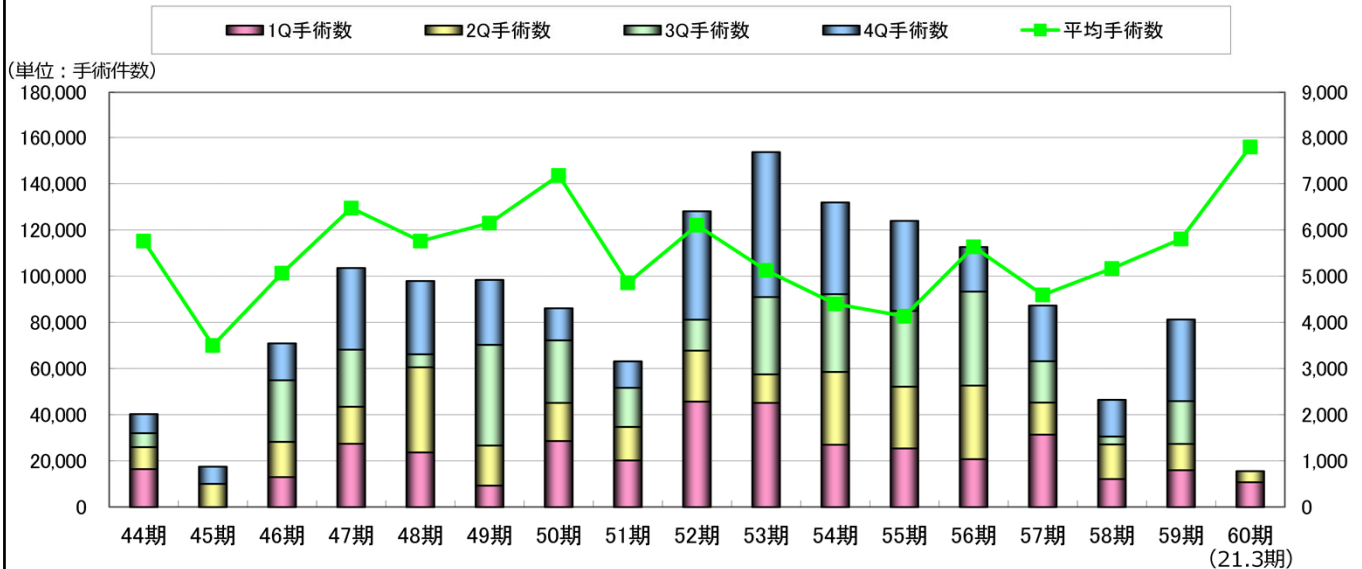


売上高 : 6,815百万円 (前年比△659百万円 : 91.1%)

60期契約施設数 : 新規2施設、解約5施設

累計契約施設数 : 275施設

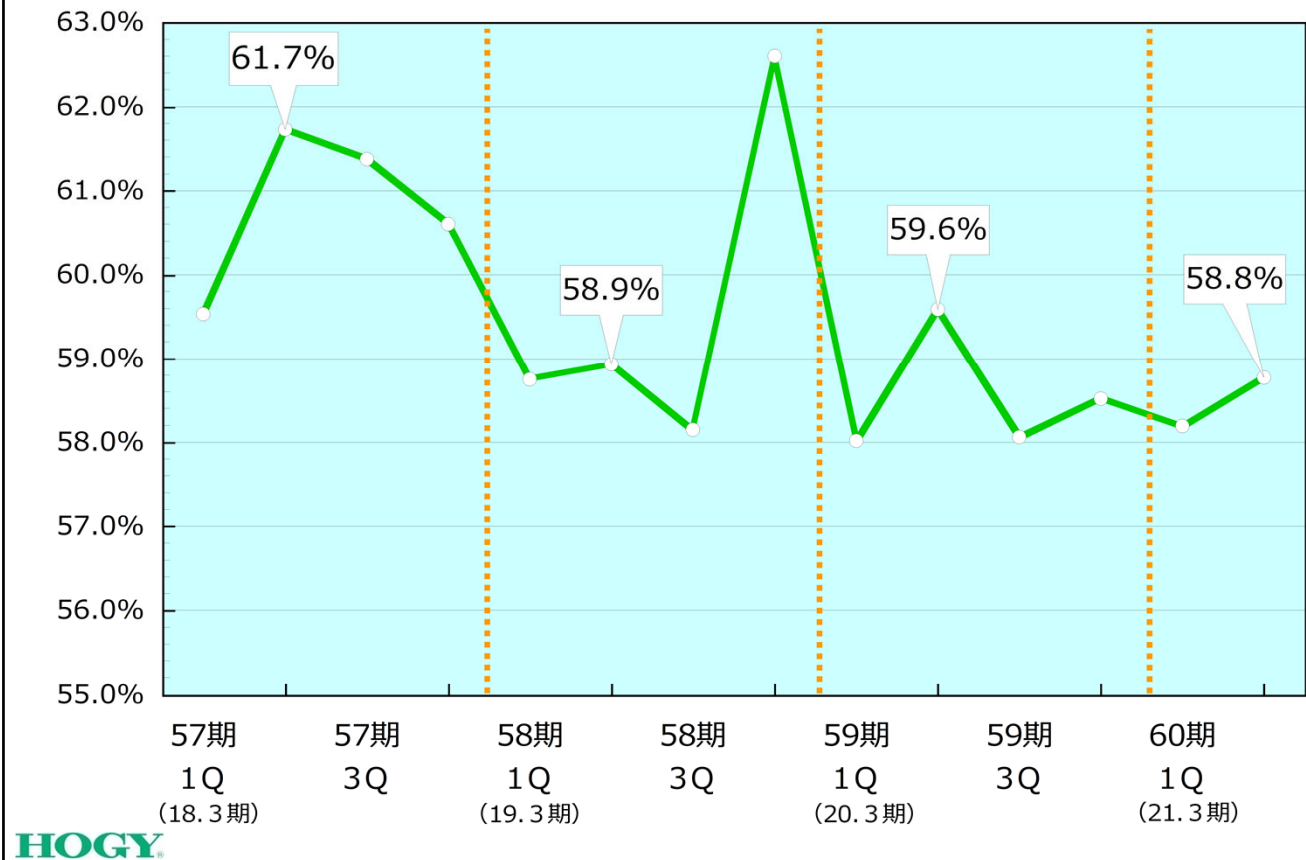
オペラ契約期別 獲得手術数 & 平均手術数



HOGY

- ・ 60期契約病院2件 (I 群1件 III群1件)
- ・ 60期契約病院の1病院当たり平均手術数は7,800件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率推移



HOGY

19

- ・ 製造量減少に伴う生産性への影響（約290百万円）
- ・ 第2四半期にてスポット購入したガウンが割高による影響
- ・ 新工場償却費の減少
 - 償却合計：2,242百万円（前年比：344百万円減）
 - ・ 原価：1,804百万円（前年比：271百万円減）
 - ・ 販管費：438百万円（前年比：72百万円減）

第60期（2021年3月期）第2四半期損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期2Q実績		21.3 60期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,380		17,734		△645	96.5%
売上原価	10,810	58.8%	10,374	58.5%	△436	96.0%
売上総利益	7,570	42.0%	7,360	41.5%	△209	97.2%
販売費及び一般管理費	4,973	27.1%	4,689	26.4%	△284	94.3%
営業利益	2,596	14.1%	2,671	15.1%	74	102.9%
営業外損益	127		134		7	
経常利益	2,724	14.8%	2,806	15.8%	81	103.0%
特別損益	1,943		1,028		△914	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,265	17.8%	2,776	15.7%	△489	85.0%
E P S	108.14		91.84円			

主な増減科目	前年比
人件費	137
旅費交通費	△139
見本費	△77
減価償却費	△72

一部株式売却益
 2020年3月期：1,942百万円
 2021年3月期：1,028百万円

HOGY

20

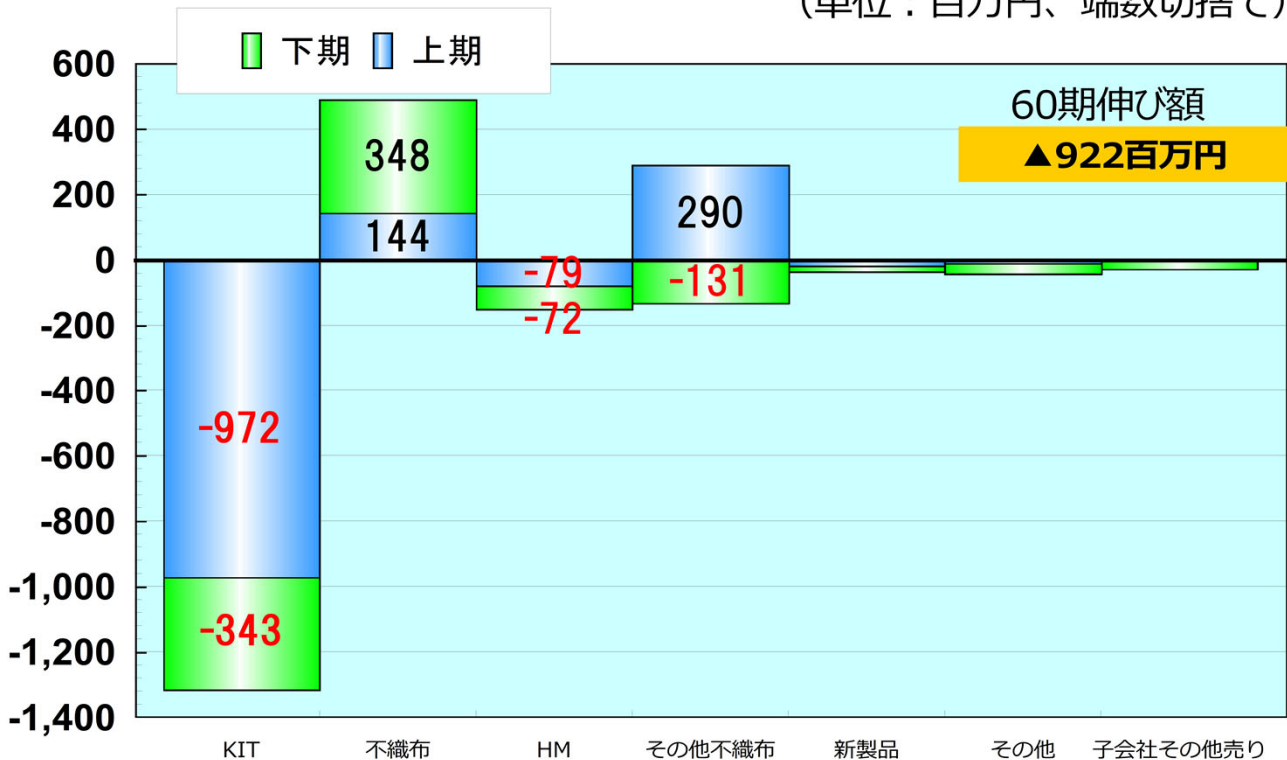
- ・ 販売管理費：4,689 百万円(△284百万円)
 - ✓ 人件費：前年度利益増加に伴う人件費上昇
 - ✓ 旅費交通費、見本費：営業活動自粛の影響
- ・ 営業外：保有外貨預金の為替差益が発生
- ・ 特別利益：有価証券売却益の計上
- ・ 設備投資：2,291百万円(内新工場追加：1,697百万円)

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）主な製品の売上高増減額



（単位：百万円、端数切捨て）



HOGY

22

■キット製品はコロナによる影響で▲1,960百万円の影響を受ける

■プレミアムキットで646百万円増収を見込む

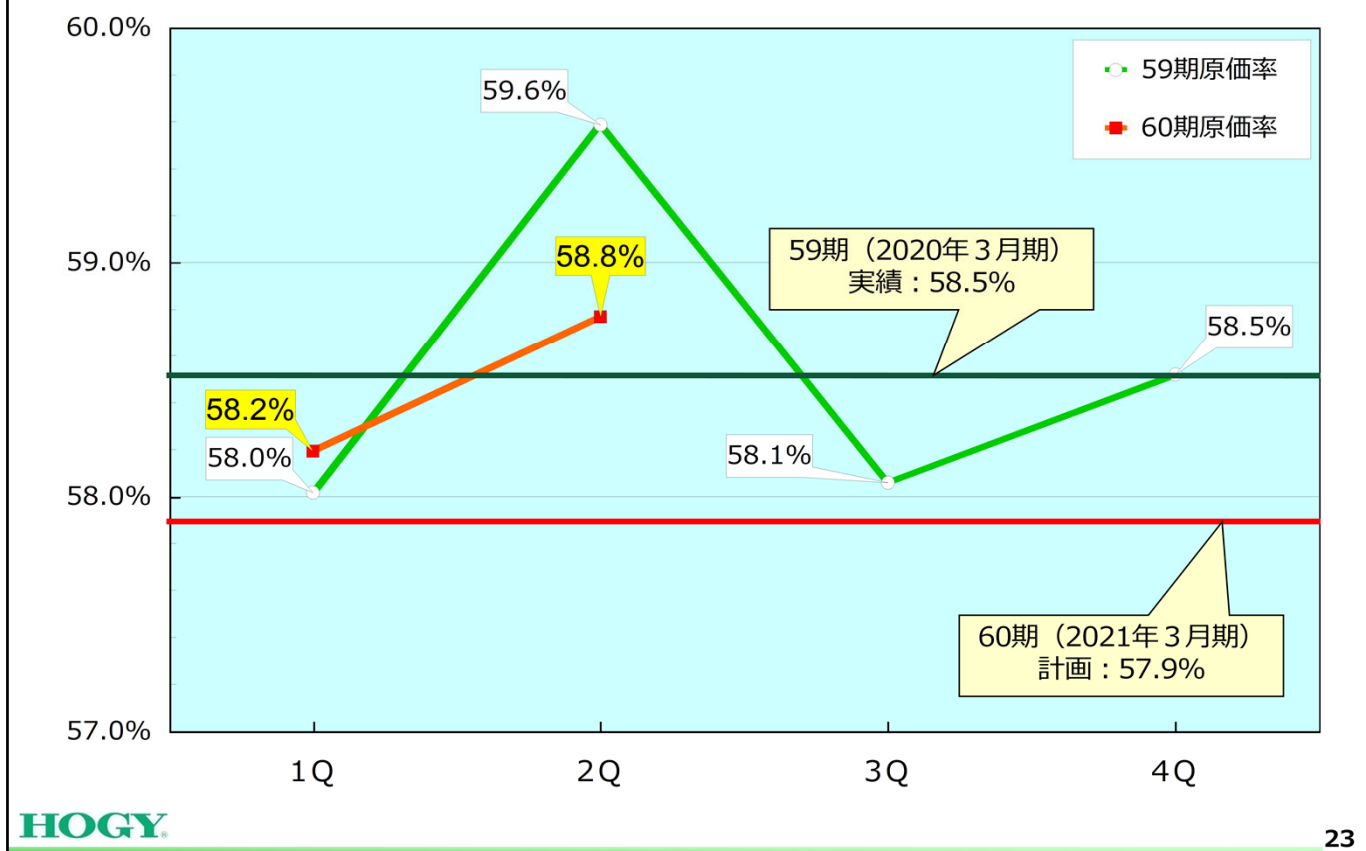
■不織布製品では感染防止関連製品の特需を見込む（ガウン・プリコーションセット）（440百万円）



（プリコーションセット内容）

- ・サージカルガウン、フェイスシールド、N95マスク、グローブ、シューズカバー、キャップ

第60期（2021年3月期）損益計算書



23

- 新工場償却費の減少

償却合計 : 4,620百万円 (前年比 : 663百万円減)

- 原価 : 3,690百万円 (前年比 : 522百万円減)
- 販管費 : 930百万円 (前年比 : 140百万円減)

- 生産量減少による原価率の増加

- コーポレートレート110円

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		36,310		△922	97.5%
売上原価	21,798	56.8%	21,010	57.9%	△788	96.4%
売上総利益	15,434	43.2%	15,300	42.1%	△134	99.1%
販売費及び一般管理費	10,126	26.6%	9,810	27.0%	△316	96.9%
営業利益	5,307	16.5%	5,490	15.1%	182	103.4%
営業外損益	483		440		△43	91.0%
経常利益	5,791	17.6%	5,930	16.3%	138	102.4%
特別損益	1,934		1,020		△912	52.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	13.7%	4,980	13.7%	△549	90.1%
E P S	183.07円		164.70円			

主な増減科目	前年比
旅費交通費	△198
償却費	△140
見本費	△105
人件費	235

一部株式売却益
2020年3月期：1,942百万円
2021年3月期：1,028百万円

配当額
2021年3月期：68円（2円増配）

HOGY

24

- ・ 販売管理費：9,810百万円(△316百万円)
 - ✓ 旅費交通費・見本費：新型コロナによる営業活動への影響
 - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
 - ✓ 人件費：利益増加に伴う人件費上昇
- ・ 特別利益：一部株式の売却による利益計上
- ・ 設備投資：5,200百万円(内新工場追加：3,660百万円)



2020年10月14日 (水)

第60期 (2021年3月期) 第2四半期決算説明会

(2020年4月1日~2020年9月30日)

代表取締役社長	最高経営責任者 (CEO)	保木 潤一
執行役員	管理本部長	川久保 秀樹